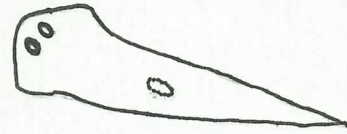


ちっちゃいものくらぶ



ねえ、みんな。プラナリアって知ってる？彼(彼女)もちっちゃいものくらぶの仲間なんだよ～

切っても切ってもまた頭やしっぽが再生する、すごいやつなんだあ。

高校1年の時の生物の授業で、その存在を知ったの。教科書にプラナリアの絵が載っていて、ひとめぼれしました。

ずっと会いたいと思っていたら、10年前に習志野高校に赴任した時、なんと生物部がプラナリアを育てているという看板が出ていて、赴任初日から気になってしかたがありませんでした。

3日目にとうとう我慢ができなくなり、生物室へと乗り込みました。そしてあこがれ続けたプラちゃんとお初めのご対面！天にもものぼる心地がしました。あまりにもものほしそうにしていたからか、生物の先生が「少し持っていく？」と聞いてくれたので、「はいっ」と即答。「ごはんですよ」の空き瓶にプラちゃんを5匹入れて持たせてくれました。プラちゃんの大好物の冷凍アカムシ1ブロックつきの大盤振る舞いでした。

電車に乗ってわくわくしながら帰り、虫かごに塩素を抜いた水とオオカナダモと一緒に入れました。最初はアカムシを爪楊枝でちょっとすくってあげていたんだけど、だんだん自分で勝手に身体が切れて増えていくんで、おそらくですが、300匹くらいにはなりました。その頃は、アカムシは1ブロックごとあげないと足りないくらいになりました。ごはんをあげるとプラちゃんは結構すごい勢いでごはん近づいていきます。300匹が一斉にアカムシを食べる光景は、もののけ姫のたたり神みたいなビジュアルでした。

プラナリアは切ってもまたはえてくるのが面白いから、実験などではよく縦とか横に切られてますが、生物の先生に「切られたら痛いんですか？」と聞くと、「神経は一応あるから痛いかもしれないね」と言われたので、私は一度も切りませんでした。

プラちゃんがゆっくり「つーつ」と水面を移動する姿や、時々うんちをするのや、粘液を出してるところなど、じーっと見ていたら2時間も経ってたことがありました。

プラちゃんは不死身なのかと思っていたら、ある時一斉にお亡くなりになりました。新しく虫かごで誕生した子もいたはずなんですけど、多くはいわゆる「クローン」ですよね。だからみんな一度に寿命がきてしまったのかなあと、そのできごとを納得することにしました。

プラちゃんを知らない人は、ぜひネットなどで見てください。

つぶらなお目めが愛らしい生き物です。おなかに口があるのはちょっとびっくりですけどね。

よく一緒にいる「モノアラガイ」の方が強そうなのに、なんとプラちゃんのごはんになっちゃうんですよ～

「ちっちゃいものくらぶ」募集！

みんなのお気に入りの「ちっちゃいものくらぶ」の仲間がいたら、ぜひ教えてね！

みんなからの情報を掲載しちゃうよ